



04



福音

BASE Is Biblical And Solid Essentials
GOSPEL

Introduction

序論



“

私たちは世界が
読んでいる聖書です。
私たちは世界が
必要としている
信仰告白です。
私たちは世界が
注意を払っている
メッセージです。

-Billy Graham

主の心を
教えられた
福音を伝える者と
されたい

AG EN DA

- 01
- 02
- 03
- 04

- 福音を伝える幸い
福音についての考察**
- 個人伝道のポイント**
- 世界視点で見る福音伝道**

Chapter 1

福音を伝える 幸い

Section 1-1

福音を伝える特権

すると見よ。

ツアラアトに冒された人がみもとに来て、
イエスに向かってひれ伏し、

「主よ、お心一つで
私をきよくすることが
おできになります。」

と言った。

イエスは手を伸ばして彼にさわり、
「わたしの心だ。きよくなれ」
と言われた。

すると、すぐに彼の
ツアラアトはきよめられた。

神は人を
きよめたい

神は人と共に
生きたい

罪のきよめを 拡大する人生

Section 1-2

第1章のまとめ

福音を
伝える人生は
罪のきよめを
拡大する
特権ある人生

Chapter 2

福音についての 考察

Section 2-1

福音がテーマの 聖書書簡

ローマ人への 手紙

ROMANS OVERVIEW

教理

1-4章

福音は神の義を
明らかにする

1

5-8章

福音は新しい人間性を
生み出す

2

9-11章

福音はイスラエルに
対する神の約束を果たす

3

12-16章

福音は兄弟姉妹を
一致させる

4

実践

×

Section 2-2

ロマ書の概観

ROMANS OVERVIEW



Section 2-3

ロマ書の10の質問

question 1

福音とは何か

福音は、
ユダヤ人をはじめ
ギリシア人にも、
信じるすべての人に
救いをもたらす
神の力です。

ローマ 1:16

**福音とは
救いを
もたらすもの**

義認

罪のさばきからの救い

聖化

罪の力からの救い

宋化

罪の世界からの救い

question 1

福音とは何か

answer 1

人を救う神の力

question 2

**福音はなぜ
人に必要か**

ロマ1:18-2:16

異邦人は罪人

2
ロマ2:17-3:8

ユダヤ人も罪人

ロマ3:9-20

すべての人は罪人

question 2

**福音はなぜ
人に必要か**

answer 2

義人はいないため
義認を
必要としているから

question 3

**福音に示された
義認の方法とは
何か**

すなわち、
イエス・キリストを
信じることによって、
信じるすべての人に
与えられる神の義です。

ローマ 3:22

神の恵みにより、
キリスト・イエスによる
贖いを通して、
価なしに義と
認められるからです。

ローマ 3:24

question 3

**福音に示された
義認の方法とは
何か**

answer 3

キリストによる 罪の解決への信頼

question 4

**福音に示された
義認は旧約聖書と
調和しているか**

「アブラハムは
神を信じた。
それで、
それが彼の義と
認められた」

ローマ 4:3

question 4

**福音に示された
義認は旧約聖書と
調和しているか**

answer 4

旧約にも
信仰義認の
例があるので
調和している

question 5

**福音に示された
義認がもたらす
祝福は何か**

アダムにある
古い
人間性

or

キリストに
ある
新しい
人間性

question 5

**福音に示された
義認がもたらす
祝福は何か**

answer 5

古い人間性から
新しい人間性への
移行

question 6

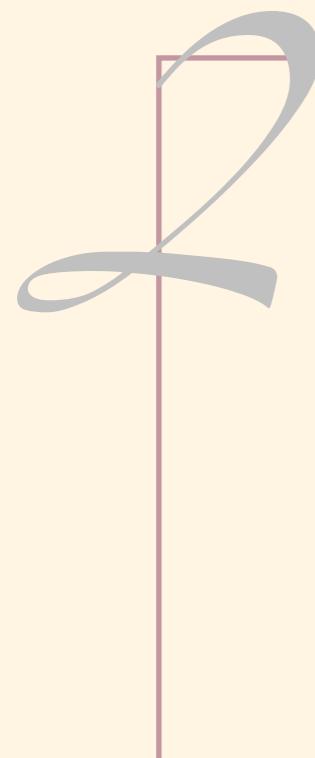
**福音は
罪を犯すことを
助長するので
ないか**

放縱

恵みを
味わうために
罪の中に
とどまる
べきでは？

それでは、どのように
言うべきでしょうか。
恵みが増し加わるために、
私たちは
罪にとどまるべきでしょうか。

同じように、
あなたがたも
キリスト・イエスにあって、
自分は罪に対して死んだ者であり、
神に対して生きている者だと、
認めなさい。



**律法違反の
刑罰はないの
だから
罪を犯しても
いいのでは？**

では、どうなのでしょう。
私たちは律法の下にではなく、
恵みの下にあるのだから、
罪を犯そう、
となるのでしょうか。

神に感謝します。
あなたがたは、
かつては罪の奴隸でしたが、
伝えられた教えの規範に
心から服従し、
罪から解放されて、
義の奴隸となりました。

バプテスマ

キリスト・イエスにつく
バプテスマを受けた私たちはみな、
その死にあずかるバプテスマを
受けたではありませんか。
私たちは、
キリストの死にあずかる
バプテスマによって、
キリストとともに葬られたのです。
それは、ちょうどキリストが
御父の栄光によって
死者の中からよみがえられたように、
私たちも、
新しいいのちに歩むためです。

水の中に沈む ↓

アダムにある
古い
人間性は
死に

水の中から上がる ↑

キリストに
ある
新しい
人間性に
復活した

question 6

**福音は
罪を犯すことを
助長するので
ないか**

answer 6

**新しく与えられた
性質は
罪を犯すことを
助長しない**

question 7

**福音に示された
恵みだけでなく
律法の行いも
清い生活には
必要なのでないか**

律法主義

ですから、
律法は聖なるものです。
また戒めも聖なるものであり、
正しく、また良いものです。

自分がしたいと
願うこととはせずに、
むしろ自分が
憎んでいることを
行っているからです。

ローマ 7:15

question 7

**福音に示された
恵みだけでなく
律法の行いも
清い生活には
必要なのでないか**

answer 7

**自分の力で
清い生活は
実現できない**

放縱

or

律法主義

question 8

福音は
どのようにして
清い生活を
もたらすのか

希望

あなたがたは、
人を再び恐怖に陥れる、
奴隸の靈を受けたのではなく、
子とする御靈を受けたのです。
この御靈によって、
私たちは
「アバ、父」
と呼びます。

神の子とされた人の神との関係

1

思いの丈を
ぶつけられる
垣根のない関係

2

心に思うことを
交換できる
心分かち合う関係

子どもであるなら、
相続人でもあります。
私たちはキリストと、
栄光とともに受けるために
苦難をともにしているのですから、
神の相続人であり、
キリストとともに共同相続人なのです。

それだけでなく、
御靈の初穂をいただいている
私たち自身も、
子にしていただくこと、
すなわち、
私たちのからだが
贖われることを

神の子とされた希望

1 神との親しい
親子関係に
入れられた希望

2 罪と死がない
完全ながらだが
与えられる希望

question 8

**福音は
どのようにして
清い生活を
もたらすのか**

answer 8

**神の子とする
聖靈がもたらす
希望によって**

question 9

**福音に示された
約束は
反故にされたり
しないか**

それでは、尋ねますが、
神はご自分の民を
退けられたのでしょうか。
決して
そんなことはありません。

神の賜物と召命は、
取り消されることが
ないからです。

ローマ 11:29

question 9

**福音に示された
約束は
反故にされたり
しないか**

answer 9

**神は約束を
反故にしない**

question 10

**福音を信じる者は
どのように
生きるべきか**

ですから、兄弟たち、
私は神のあわれみによって、
あなたがたに勧めます。
あなたがたのからだを、
神に喜ばれる、
聖なる生きたささげ物として
獻げなさい。

生きたささげ物

この世と調子を
合わせてはいけません。
むしろ、
心を新たにすることで、
自分を
えていただきなさい。

ローマ 12:1-2

否定的命令形

この世と調子を
合わせてはいけません

受動態命令形

心を新たにして自分を
変えていただきなさい

変わる

マタ17:2

マコ9:2

ロマ12:1

IIコリ3:18

それから六日目に、
イエスはペテロとヤコブと
その兄弟ヨハネだけを連れて、
高い山に登られた。
すると、弟子たちの目の前で
その御姿が変わった。
顔は太陽のように輝き、
衣は光のように白くなつた。

マタイ 17:1-2

変わる

本来の性質を
はっきり表現する

心をささげるとは

1

この世の考えに
染まる方向に
心を向けない

2

与えられた本来の
性質を表す方向に
心を向ける

question 10

**福音を信じる者は
どのように
生きるべきか**

answer 10

**キリストに
心を向ける**

- 01 福音は義を明らかにする
- 02 古い性質は義に到達できない
- 03 義をもたらすのは信仰
- 04 旧約の人物もそうだった
- 05 義とされた新しい性質に移行できる
- 06 古い性質は新しい性質と共栄しない
- 07 古い性質は新しい性質を助けられない
- 08 新しい性質を助けるのは御靈
- 09 新しい性質が備わる約束は破られない
- 10 新しい性質を表す人生に生きる

Section 2-5

第2章のまとめ

福音は
いのちの世界に
人を移行する
良き知らせ

Chapter 3

個人伝道 のポイント

Section 3-1

ピリポの例から



祈って行動

さて、
主の使いがピリポに言った。
「立って南へ行き、
エルサレムからガザに下る道に
出なさい。」

私がまだ語り、祈り、
自分の罪と自分の民
イスラエルの罪を告白し、
私の神の聖なる山のために、
私の神、主の前に伏して
願いをささげていたとき、
すなわち、私がまだ祈りの中で
語っていたとき、
私が初めに幻の中で見たあの人
ガブリエルが、
すばやく飛んで来て私に近づいた。

ダニエル 9:20-23

それは夕方のささげ物を
獻げるころであった。
彼は私に悟らせようとして
こう告げた。

「ダニエルよ。

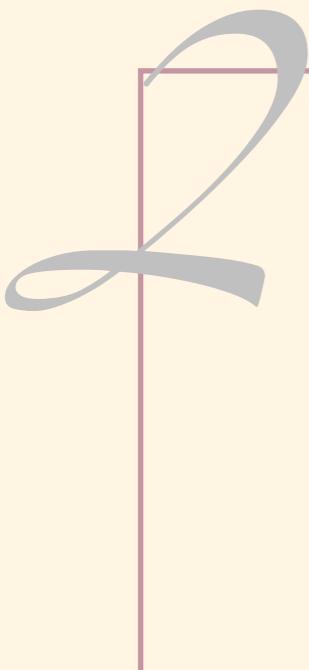
私は今、悟りによって
あなたを賢明にさせようとして
出て來た。

あなたが願いの祈りを始めたとき、
一つのみことばが出されたので、
私はそれを伝えに來た。

ダニエル 9:20-23

「立って南へ行き、
エルサレムから
ガザに下る道に出なさい。」
そこは荒野である。

使徒 8:26



關係構築



御靈がピリポに
「近寄って、
あの馬車と一緒に行きなさい」
と言われた。
そこでピリポが走って行くと、
預言者イザヤの書を
読んでいるのが聞こえたので、
「あなたは、
読んでいることが分かりますか」
と言った。

するとその人は、
「導いてくれる人がいなければ、
どうして分かるでしょうか」
と答えた。
そして、
馬車に乗って一緒に座るよう、
ピリポに頼んだ。

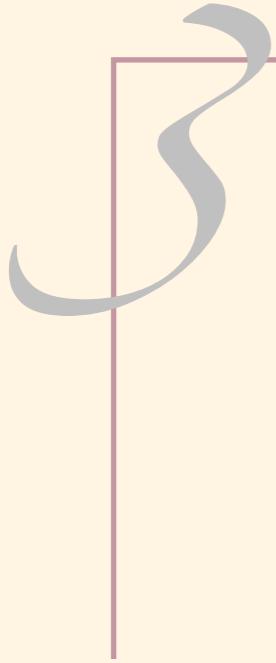
近寄って

そこでピリポが走って行くと、
預言者イザヤの書を
読んでいるのが聞こえたので、
「あなたは、
読んでいることが
分かりますか」
と言った。

使徒 8:30

“
伝道の対象として
ではなく、
人をあるがままに、
一人の人間として
愛しましょう。
伝道の90%は、
未信者をどう愛するかに
かかっている
と言われています。

-Jim Peterson



状況確認

宦官はピリポに
向かって言った。
「お尋ねしますが、
（中略）」
ピリポは口を開き、

使徒 8:34-35



“
私たちの中で、
「救靈に熱心な人」
に出会わなかつた人はいません。
忙しく歩き回り、
疑うこと知らない、
見込みのありそうな人を見つけると、
途切れず話しかけます。
そこで、どうしたら救われるか
という一定の公式にしたがつて導き、
ついに相手が根負けして、
この人から逃れるためには、
これしか方法はないと觀念して、
信仰告白をするまで
しつこくつきまとう人のことです。



“

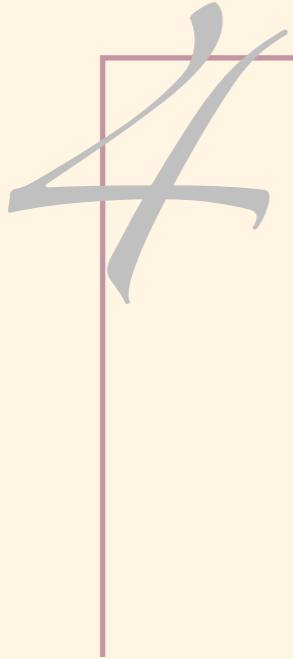
回心者を新たに獲得すると、
それを記録し、
さらに、数字を稼ごうと
見込みのありそうな人を
探し回ります。
果たして、
これは福音伝道と
いえるのでしょうか。
これが福音伝道で
あるはずはない、
と私たちは認めざるを得ません。



“

むしろ、
一種の宗教的嫌がらせ
(ハラスメント)です。
肉の力でなされる奉仕は
どれもみなそうであるように、
これもまた益少なく
害の多いものです。

-William Macdonald



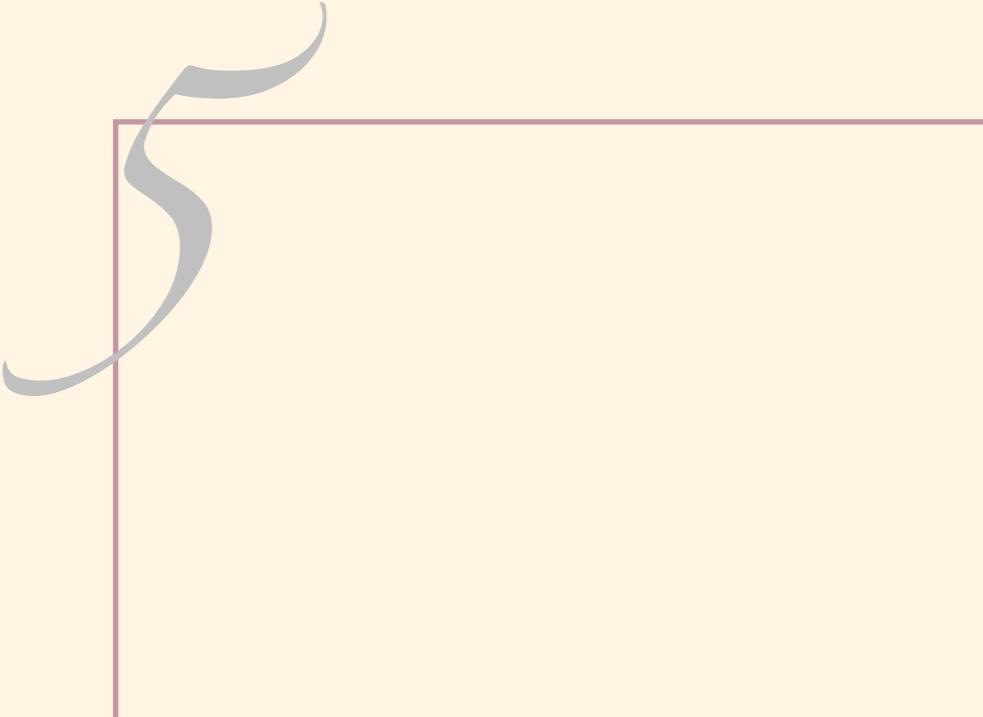
福音の全体確認

ピリポは口を開き、
この聖書の箇所から始めて、
イエスの福音を彼に伝えた。

使徒 8:35

あなたがたのうちにある
希望について
説明を求める人には、
だれにでも、
いつでも弁明できる
用意をしていなさい。

私は驚いています。
あなたがたが、
キリストの恵みによって
自分たちを召してくださった方から、
このように急に離れて、
ほかの福音に移って行くことに。
ほかの福音といっても、
もう一つ別に福音があるわけでは
ありません。
あなたがたを動搖させて、
キリストの福音を変えてしまおうと
する者たちがいるだけです。



主に導く



二人が水から上がって来たとき、
主の靈がピリポを連れ去られた。
宦官はもはや
ピリポを見るることはなかったが、
喜びながら帰って行った。

“

わが上に
主の麗しさのみ輝け。
得るために、
われは失うことを
求めん。
その器を
忘れしめよ。
見るべきは
ただ主のみなり。

-Kate B. Wilkinson

Section 3-2

第3章のまとめ

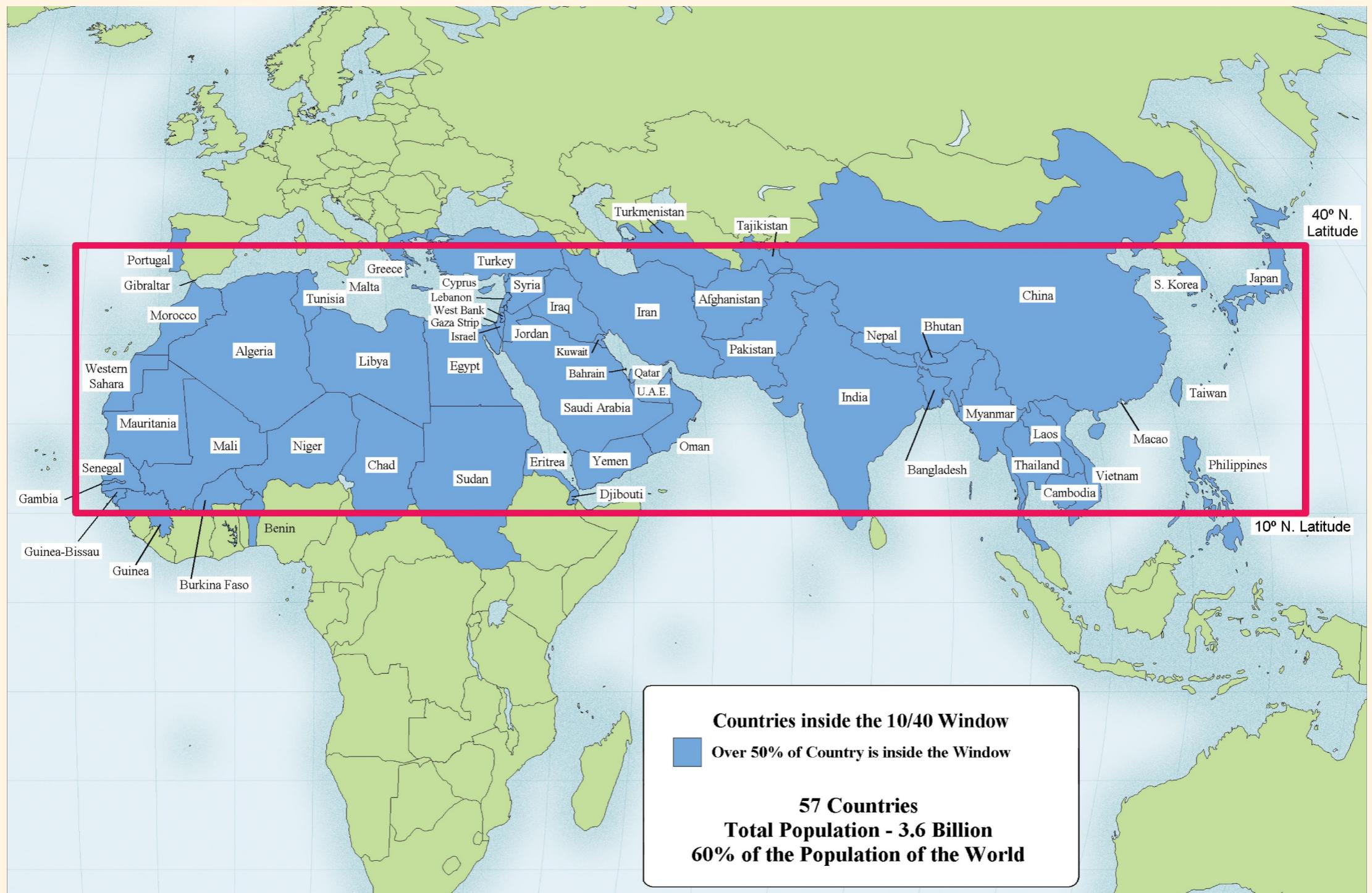
**福音伝道は
魂を思う
祈りから始まる**

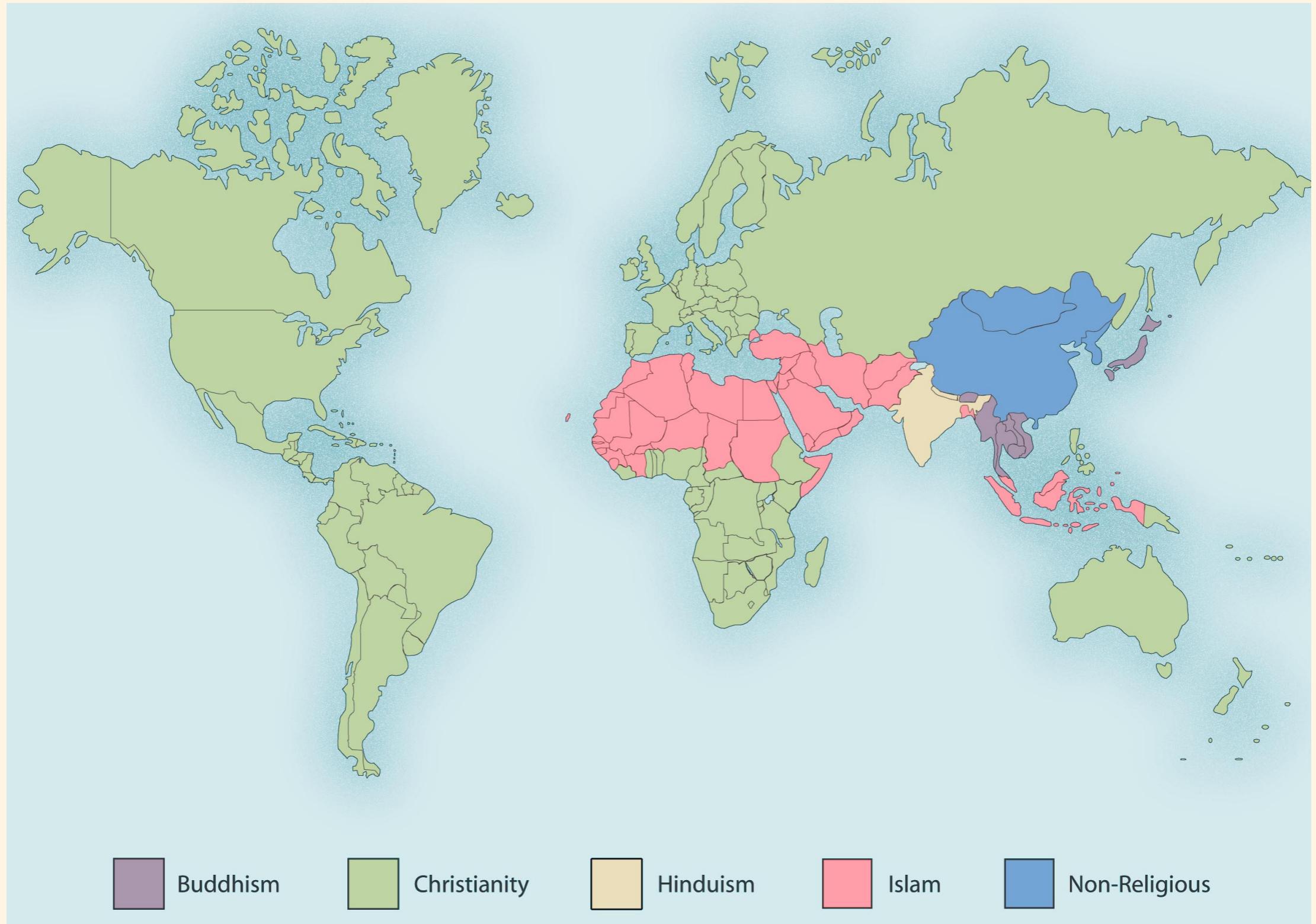
Chapter 4

世界視点で見る 福音伝道

Section 4-1

10/40の窓







“

戦闘に従事する兵士一人に対し、前線の背後で任務を果たす人々は数人います。
第二次世界大戦において、米国陸軍では、全部隊の内、戦闘に参加したのは、わずか30%でした。残りの人々は、工兵、補給、兵器、通信、化学、輸送の、支援部隊と軍政部でした。



“

主のみわざにおいても、
この状況に
類似したものがあります。
クリスチャンはみな
兵士ではありますが、
そのすべてが戦闘の
最前線にいるわけでは
ありません。
全員が説教者、伝道者、
あるいは、教師、または、
牧師とは限りません。
全員が、
世界各地の最前線で仕える
宣教師でもありません。



“

神は、ご自分の軍隊にも
支援部隊を置いておられるのです。
戦いの潮目が変わるまで、
毎日苦闘する忠実な
祈りの戦士がいます。
前線にできるだけ
多くの資金を送ろう、
と切り詰めて生活をする、
献身的な管理者がいます。
敵と真正面から戦っている人々に、
食糧と宿泊場所を
提供する人々もいます。



“

さらに、いつか遠い国々にまで
メッセージを届けるであろう原稿を、
タイプする人もいます。
キリスト教の書物を編集し、
翻訳し、印刷する人もいます。
〈王〉の御用に役立つように
息子や娘を育てながら、
家庭で仕える
優れた女性たちがいます。
戦いの激戦地にいる一人に対して、
数人は支援部隊として
仕えているのです。



“

やがて、報酬が渡されるとき、
支援的役割を持っていた人も、
戦争の英雄として
誉れを受ける人々と、
平等に分け合うのです。
前線の背後で静かに任務を
果たした者も、
福音伝道の著名人たちに並んで、
等しい栄誉を受けるのです。
神は、そのすべての選別が
おできになります。
一人ひとり、
全員の貢献度の重要性を
正確に測ることができるのである。



“

驚くことが
山ほどあるでしょう。
余り重要ではない、
と私たちが考えていた
目立たない人々が、
実は命運のかかる部署に
いたことがわかるでしょう。
彼らがいなかつたならば、
私たち自身も
何もできなかつたことが
わかるはずです。

-William Macdonald

Section 4-6

第4章のまとめ

すべての
クリスチヤンが
福音の
前進のために
召されている

Whole Summary

全体まとめ

Summary Of Introduction

序論のまとめ

福音を伝える人
という福音書を
未信者は
読んでいる

Chapter 1 Summary

第1章 福音を伝える幸い のまとめ

**福音伝道は
罪のきよめを
拡大する
特権ある人生**

Chapter 2 Summary

第2章 福音についての考察 のまとめ

福音は
人を全く新しい
いのちの世界に
導き入れる

Chapter 3 Summary

第3章 個人伝道のポイント のまとめ

**福音伝道は
祈りに
基づいている**

Chapter 4 Summary

第4章 世界視点で見る 福音伝道 のまとめ

福音を
伝えることは
靈的な戦いを
戦うこと

EOF

• 参考資料

- 高木慶太『信じるだけで救われる』いのちのことば社、2004年
R・A・ファーレル『集会の真理と行動』伝道出版社、1975年
ウィリアム・マクドナルド『新約聖書注解1』伝道出版社、2004年
ウィリアム・マクドナルド『新約聖書注解2』伝道出版社、2006年
ウィリアム・マクドナルド『新約聖書注解3』伝道出版社、2008年
ポール・ハッタウエイ『バック・トゥ・エルサレム』マルコーシュ・パブリケーション、2006年
C・H・マッキントシ『キリストの大宣教命令』エマオ出版、2006年
C・H・マッキントシ『真実な回心とは?』エマオ出版、2007年
A. Scott Moreau、Gary R. Corwin、Gary B. McGee『Introducing World Missions』Baker Academic、2004年
ウィリアム・バークレー『新約聖書のギリシア語』日本キリスト教団出版局、2009年
ウィリアム・マクドナルド『この日を主とともに』ゴスペルフォリオプレスジャパン、2014年
J・B・カリー『ローマ人への手紙』伝道出版社、1995年

• 改版履歴

-
- 2015年10月 初版
2015年12月 改版
2016年4月 改版
2016年7月 改版
2017年6月 改版
2019年7月 改版
2019年8月 改版
2019年9月 改版
2019年10月 改版
2019年12月 改版
2020年1月 改版
2020年2月 改版
2020年3月 改版
2020年9月 改版
2020年10月 改版
2020年11月 改版
-